

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	介護支援専門員支援事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	長寿介護課							
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	介護認定係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		3 健全な介護保険制度を運営する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	4		大	2		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市介護支援専門員研修事業実施要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	要介護者の状態を把握し、介護サービス等を提供するケアプランを作成する介護支援専門員に、より専門性の高い「知識、技能、実践力」を習得させる。														
	内容 (手段)	<p>1コース定員40名(スーパーバイザーコースは定員20名)で、個々の介護支援専門員の習熟度を考慮し、基礎研修課程(初級;スタンダードコース)及び専門研修課程(中級;ステップアップコース、指導者養成;スーパーバイザーコース)、特別講座コースに区分して実践。事業は委託にて実施しており、市職員は委託契約、研修時の受付等の事務を担当している。</p> <p>平成24年度はスタンダードコース(15回)と特別講座コース(3回)を開催した。          ※特別講座内容:①地域包括ケアを考える①～ケア会議を知る～          ②地域包括ケアを考える②～地域ケア会議を通しネットワーク構築を学ぶ～          ③介護者支援～介護者がケアマネジャーに望むこと～          ※特別講座はオープン参加の為、修了証は交付せず。</p> <p>【直接経費の内訳】          介護支援専門員支援事業委託(801千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	801	801	801	801	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,066	1,066	1,066	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	1,867	1,867	1,867	1,867	
	対前年比	%		100.0	100.0	100.0		
財源	一般財源	千円	1,867	1,867	1,867	1,867		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	研修講座	単元	目標	21	—	—
実績				21	22	15	
	特別講座	回	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	3	
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	研修修了者	人	目標	35	—	—	—
			実績	34	20	16	
	特別講座参加者	人	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	117	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	研修講座を実施し、保健・医療・福祉の専門家等からケアプラン作成技術に関する指導、助言をもらうことにより、ケアプランを作成する折に問題点、気をつける点、説明する必要がある点等様々な事項を認識していただくことができた。この知識や経験は、利用者とのケアプラン作成や相談等に反映されるものである。		
		事業実施における課題	ケアマネジャーの経験年数によって受講コースを設定しているため、対象者が少ない場合は、受講者数が少なくなる。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	ケアマネジャーが、自らケアプランを作成する際の注意点や最新情報を入手する機会を失うことで、ケアプランを作成する技術が停滞し、その結果、介護サービスそのものの適切・良好な運用を損ねることになる。		
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	事業対象者が少ない場合や講義の内容によって実施方法を検討しながら、事業をすすめる。	
		平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	現在の事業の実施により、ケアマネジャーのケアプラン作成等を含めた知識向上とともに、所属する事業所へも伝わるよう裾野をひろげていることにより、介護サービスそのものの適切・良好な運用の実現に寄与しているため。		
		26年度以降の改善案	ケアマネジャーへ参加を呼びかけるとともに、特別講座を開催するなどしてより多くのケアマネジャーに対する研修の機会を広げ、技術の向上を図る。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。